

## Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

ようやく夏が終わりそうな気配が漂う中、第106回薬剤師国家試験要領が発表され、ついに合格基準が絶対基準から相対基準になりました。これによって「65% (225点) 以上取れば大丈夫!」ということがなくなります。目標点は必要ですので、変わらず65%を超えることを一つの目標にし、1点でも多く取れるように頑張るしかありません。

また、今の国家試験は「考える力」と「応用力」を図りたいという方針のようです。確かに社会に出たら、応用力や臨機応変さが求められます。応用力を養うためには、たくさん問題を解いたり複数の参考書を読んだりして、さまざまな角度からの説明や講義を聴くしかないと思います。それはまさに今の薬学生に抜けていることだなと思います。

8月には、5月から延期されていた司法試験が実施されました。新型コロナウイルス禍によって大学はウェブ講義が中心になっています。やる子はしっかりやっていますが、自宅ではできないという子もいますので、大学内での成績格差が激しくなっています。

今年の春には薬学部が2大学増え、来春にもさらに2大学が増えますが、それにより薬学部の偏差値の格差も激しくなります。厚生労働省の相対基準にするという決定は仕方なしだと思います。一人でも多くの優秀な薬剤師が誕生することを願うのみです。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子